

その「物語」の物語。

“ペログリ”的複眼思考の味わい vol.107

a taste of Ya'ssy

田中 康夫



たなかやすお●'56年生まれ。作家。'00年より長野県知事を2期務める。'07年に参議院議員に当選。'09年8月の衆議院選挙で兵庫8区から立候補し当選、1期務める。
【公式ブログ】 <http://tanakayasuo.net/>



泡沫経済時から原発爆発を預言していた黒澤明監督の洞察力

今週の逸品



ミナスのオリジナル・ステーキコース 1万3650円

パリのアルページュを差配したアラン「肉の魔術師」パッサールに師事した竹岡慶氏が供し手の山本祥嗣氏と営むミナスは、牛ヒレ肉の炙りタルタルを始めとする前菜から始まり、季節野菜のソテーを経てステーキ、更にはドミグラスソース添えのハンバーグ・ステーキと続く。メインのステーキは来店2～3時間前に弱火で焼き始める。メには焼きお握りも登場。西麻布交差点が霞町と呼ばれ往時の雰囲気も漂わす逸軒。

【minas】東京都港区西麻布1-10-14 アビターレ霞町B1 ☎03-5772-5099
営業17:30～22:30(LO) 日祭定休

Illustration by Hajime Anzai



自身が見た八つの夢を元に構成された黒澤明監督のオムニバス映画「夢」は1990年公開。ニューヨークのロックフェラー・センターを二千万円で三菱地所が購入し、身の丈を超えた泡沫経済に沸く日本に対し欧米の視線が厳しくなった時期の作品です。

が、その日本国内では巨匠の新作への出資者が現れず、已む無くステイブーン・スピルバーグ監督の仲介でワナー・ブラザーズと共に制作に漕ぎ着けます。

第六話の「赤富士」は地震・火

山大国ニッポンの富士山が赤く変色し、人々が逃げ惑う中で寺尾聰が演ずる主人公が「何があつたんですか?」と尋ねるや、「あんな知らないの? 原発が爆発したんだ」と子連れの根岸季衣が答えるシーンから始まります。

「作った場合にさ、人間では制御出来ない性質を持つていうのが、それもそれは間違いだと思つ。公開時に述べた巨匠は、6基の原発が暴発する中で、「安全だ、絶対ミスをおかさないから問題ない、

と抜かした奴らは許せない!」、狭い日本にいる私たちは、一体何処に逃げられるというの」と登場人物に叫ばせます。

その洞察力は、高度経済成長を成し遂げた1970年に「人類の進歩と調和」を掲げて開催された大阪万国博覧会で、敢えて太陽の塔を出現させた岡本太郎画伯の心算にも通じるのです。優れた政治家や企業家は、芸術家としての自分を併せ持つべきです。自由フランス軍のアンドレ・マルローや、クラレ中興の祖たる大原孫三郎。

残念ながら古今東西、数える程しか思い浮かびませんが。而して第八話の「水車のある村」は、電気を使わぬ村を描きます。主人公は、その老人の初恋の女性の葬儀で、タイの人々と同じく天寿を全うした事を祝って行進する村人に感銘を受けるのです。

撮影場所は、年間120万人が訪れる安曇野の大王わさび農場。公開から十年後、放漫行政で財政破綻に陥り掛けていた地で知事に就任の僕は、クロード・モネの世界とも称すべき水車小屋の景観を、国の補助金を得てコンクリート護岸で破壊せんとする公共事業計画を、ガラス張り知事室へ訪れた住民からの訴えで知ります。

迂回する放水路を設けて景観を保全すべき、と命じた僕に守旧派の県庁職員は、補助金が見込めず、事業費が嵩むのは財政難の中で如何かと「懐柔」を繰り返します。が、一人の有為な職員が僕に、実は金額に然したる違いは生じないと独自に試算した書類を手渡してくれたのです。

老いても預言者クロサワは富士の裾野に位置する別邸で生肉のタルタル・ステーキをペロリと平らげ、お替わりを所望する怪物でした。時空を超え、西麻布の隠れ家的存在の「ミナス」は、アラン・パッサールに薫陶を得たステーキを供する大人の逸軒です。